

市民ネット21



奥村 功

市立幼稚園・保育園の在り方

**問** 今後の市立幼稚園・保育園の在り方に対する現在の検討状況は

**答** 幼稚園などの就学前施設の今後の在り方として「公立園の在り方」「幼稚園の再編基準」「市立認定こども園への移行」について有識者からの意見を参考に検討している。検討内容として、公立園の在り方では、地域の子育て支援の拠点として先導的によりよい保育・教育を実践すること、幼稚園の再編基準では、現在の画一的な基準を見直す必要があること、認定子ども園への移行では、地域の状況を踏まえた導入の可能性を検討することなど、調整を行うっており、その内容は令和3年3月中に示す予定である。



※代表質問の答弁の後、これらの検討結果を踏まえた市立幼稚園・保育園の今後の方針が公表されました。詳しくは、市のホームページをご覧ください。

コロナ禍の地域経済への支援

**問** コロナ禍によって打撃を受けている地域経済に対してさらなる下支えが必要だが、今後の支援の在り方は

**答** 令和3年度はテイクアウト・デリバリー等導入促進支援補助金の継続や、市内中小企業魅力発信事業などを実施する。また国や県の補助金制度を周知するとともに、専門家による個別支援や商工団体などとの連携を通じて活用を促していく。中長期的な視点では、地域産業や中小企業振興に関する条例の制定やビジョンの策定を進める。

道路舗装の長寿命化

**問** 道路維持修繕費の縮減・平準化を図るには、計画的な予防保全型の舗装修繕をもって道路の長寿命化に継続的に取り組むべきと考えるが、見解は

**答** 対象路線を重点化した計画的かつ効率的な舗装改修が、舗装の長寿命化や事業費の平準化を図る上で有効と考える。また、国の地方債制度の適用を受けるために長寿命化計画の策定を進めてきたところであり、今後も道路の適正な維持管理と予防保全を意識した舗装の長寿命化に取り組んでいく。

その他の質問 市政運営方針

地域包括ケアシステム スポーツ振興  
新年度予算編成方針 庁舎整備 など

日本共産党大津市会議員団



杉浦 智子

まちづくりに対する市の姿勢

**問** 立地適正化計画の策定によって、まちが区域に区分されることに市民から不安の声が出ている。まちづくりは、市民、行政、地域事業者などが一体となって進めていくべきであり、市民との丁寧な意見交換や説明を尽くす必要があると考えるが、市の見解は

**答** 本計画は長期的な視点で緩やかに都市構造を変えていくもので、区域の設定がまちを分断するとは考えていない。また、策定に向け出前講座などを実施しており、計画策定後も説明に努める。本計画の議論に限らず、持続可能なまちづくり実現に向け地域の直面する暮らしの課題を共有し、共に解決する取り組みを部局連携で進めていく。



立地適正化計画策定に係る出前講座の様子

ジェンダー平等社会の実現

**問** 日本はジェンダー平等社会とはほど遠く、その実現には、まずは自治体レベルで取り組みを推進する必要がある。ジェンダー平等社会実現に向けた市長の認識と、市の管理職の継続的・系統的な研修の実施に対する見解は

**答** 全ての人が多様な個性を互いに尊重し、最大限に力を発揮できる社会を目指して、人権に鑑みながら幅広く取り組む必要があると認識しており、固定的性別役割分担意識がない職場環境を目指し、必要な研修を継続する。

公費によるPCR等検査の抜本的拡大

**問** 新型コロナウイルス感染拡大防止には、ウイルスの特徴を踏まえ、早期に感染者を発見し、必要な措置をすることが重要である。市による感染拡大地域の集中検査と、高齢者施設などでの公費による社会的検査の実施が必要では

**答** お述べての検査は、実効性や検査体制の課題などから実施は困難だが、ワクチン集団接種の準備を進める一方で、高齢者施設の利用者や従事者への巡回接種の検討を進め、このことにより高齢者施設での感染拡大防止を図る。

その他の質問 新年度予算編成方針

核兵器禁止条約の批准 少人数学級の推進  
電子市役所 事業者支援・雇用対策 など